

医療法人陽心会プレゼンツ ヘルシーセッション

「老老介護は日本の健康長寿社会のシンボルになります」(和泉)
「衣・食・住のすべてを医療的見地から産業として推進」(高良)



和泉 洋人 × 高良 健

いずみ ひろと

たから たけし

内閣総理大臣補佐官
1953年、神奈川県生まれ。76年に東京大学工学部を卒業後、建設省(当時)に入省。2度の内閣官房出向を経て国土交通省住宅局長に就任し、2012年に退官。同年から内閣官房参与として官邸入りし、翌年より現職。

医療法人陽心会理事長
1946年、那覇市生まれ。74年に群馬大学医学部を卒業後、同大学附属病院、琉球大学医学部附属病院勤務を経て、88年に医療法人陽心会大道中央病院を設立。現在に至る。

今回は、内閣総理大臣補佐官として安倍政権を支える和泉洋人氏に、医療法人陽心会の高良健理事長が国の進める医療を通して産業の展望について伺います。
アジアに紹介すべき「日本的介護」とは？

政府の進める「アジア健康構想」とは

高良 和泉補佐官は2012年から内閣官房参与として官邸入りし、翌年から内閣総理

大臣補佐官として国の政策に深く関わっていらつしやいます。政府が進めている「アジア健康構想推進会議」の議長も務められていますので、まず「アジア健康構想」について、お聞かせ願えますか。

あるE R I A事業の一部で、介護を必要とする方の食事や排泄について各国の事情に合わせてカスタマイズした対応が取れるよう調査しております。さらに細かい点についても今後対応していく予定です。

和泉 先ほど話したように、国によって事情がまったく違います。アフリカだとまず栄養が足りない。それで免疫力が低下して最終的に病気になる。したがって、高良理事長のおっしゃるように、その国で何が一番プライオリティが高いのかということから始めることが必要ですね。

医療と介護の融合で産業を整備

高良 私どもは経済産業省の委託を受けて平成21年度から4年にわたり「中高年の若返りと街の活性化プロジェクト」を実施しました。その後も数年間にわたり、地域のお年寄りが自立した生活を送れるよう医療介護の面から支援する事業を、地元商店街などと協力して行ってきました。医療と介護を融合させていく中で医療を通じた周辺産業の整備、つまり医療を産業化していくというこ

と。従来のように決められた予算の中で医療の予算を消化していくのではなく、衣食住のすべてにわたって医療的見地からアプローチし、それを産業として推進していくということを実践してきました。

和泉 医療に関する役所というところまず厚生労働省が中心にあります。同時に健康に関する研究開発であれば文部科学省、ヘルスケア産業の育成という観点からは経済産業省がアプローチしています。公的保険を使用した医療はもちろん大切ですが、医療の前

和泉 安倍政権になってから、特にアジアに対してインフラ整備などの協力を推進しています。鉄道・道路・発電所・港湾などハード面での整備に加え、ソフト面での大きな柱に据えているのがアジア健康構想です。日本は世界に先駆けて超高齢社会を経験しており、その過程で豊富なノウハウが蓄積されてきました。それが、これから高齢社会を迎えるアジアの国々に貢献していくためのアセット(「経済資源」)になり得ます。日本は猛烈な勢いで高齢化してきましたが、これから韓国やシンガポール、中国、タイなどはさらに速いスピードで高齢化していきます。これらの国すべてに日本のような国民皆保険があるわけではありませんから、そこでわれわれのノウハウを活かしていくということです。

和泉 今日本は介護人材が不足しています。その一方で、アジアの国々には若い労働力が充実していると。そういう人材に技能実習あるいは留学という形で日本に来ていただき、まずは日本の介護の現場を支えていただきます。そして日本で学んだことを自国に持ち帰っていただくことで、アジア全体での人材育成と産業振興の好循環の形成を目指していくということですね。

高良 具体的にはどのような貢献ができるのですか。

和泉 それぞれの国で事情は違いますが、私はよく富士山の絵を描いて説明しています。頂上が「医療」、その次に「介護」、そして「保健衛生」「栄養」と続きます。そしてふもとに当たるボトムには「住まい」「まちづくり」などが挙げられます。頂上に当たる医療の負担を軽減するには、ボトムからしっかりと積み上げていくことがポイントにな

迎えて教育やトレーニングを行うには、自国と同じような環境である沖縄が最もふさわしいと考えていますがいかがでしょう。

和泉 確かに沖縄は東南アジアの気候に近く、地理的にも日本本土との中間に位置しています。また2020年には那覇空港第二滑走路が開港しますので、立地条件も申し分ないと。ただし、ここで学んでいただくだけではなく、生活も含めたフルパッケージでの受入態勢を整えることが大切です。そのような取り組みができるのなら、沖縄が文字通り日本のゲートウェイになるでしょう。

高良 そのためには、研修生を特定の施設で受け入れるのではなく、地域コミュニティの一員として受け入れることが大事ですね。地域行事などにも参加してもらい、住民との触れ合いを通して「沖縄での生活は素晴らしい」と思っていたく。

和泉 まったくその通りです。よくある悪い例というのが、ブローカーが介在して単純労働のような形で日本に送り込む。それだと日本に対していい思いを持てるはずがありません。互いが不幸になりますよね。高良理事長は「地域包括ケアシステム」という概念が確立する前から、医療と介護の連携を進めていらつしやいます。ぜひ沖縄が持つ特性に加えて、これまで積み上げてきた実績を基にフルパッケージで受け入れる態勢を整えてほしいですね。それが実現できれば、日本の将来に大きな貢献をすることができると思いますよ。

高良 本日は忙しい中、大変ありがとうございました。

和泉 こちらこそありがとうございます。

医療法人 陽心会

理事長 **高良 健**

那覇市地域包括支援センター 新都心
那覇市銘苅1-6-15 TEL.098-941-2252

那覇市地域包括支援センター かなぐすく
那覇市鏡原町1-68 TEL.098-852-0777

(提携) 福祉用具貸与・販売事業所
那覇市字大道128 TEL.098-885-0100

(提携) 有料老人ホーム 健寿の杜
那覇市安里3-1-47 TEL.098-941-0070

(提携) 有料老人ホーム 松風邸
那覇市若狭2-10-14 TEL.098-869-8557

(提携) ヒルズガーデン那覇
那覇市字松川20-1 TEL.098-885-0300

(提携) デイサービスセンター 松川
那覇市字松川20-1 TEL.098-885-0300

(提携) デイサービスセンター 若狭海岸
那覇市若狭1-21-1 TEL.098-941-0110

(提携) デイサービスセンター 大道
那覇市字大道127 TEL.098-886-0066

社会福祉法人 陽風会

(提携) 有料老人ホーム 大道中央
那覇市字大道127 TEL.098-886-0061

(提携) デイサービスセンター 若狭
那覇市若狭3-5-17 TEL.098-869-6122

(提携) 有料老人ホーム 若狭
那覇市若狭3-5-17 TEL.098-869-0087

(提携) 有料老人ホーム 若狭別館
那覇市若狭2-5-12 TEL.098-863-3320

(提携) 小規模多機能型ホーム 若狭
那覇市若狭3-4-10 TEL.098-951-0550

(提携) グループホーム 若狭の家
那覇市若狭3-4-10 TEL.098-951-0551

(提携) 小規模多機能型ホーム 辻
那覇市辻1-6-25 TEL.098-951-0070

(提携) 在宅総合ケアセンター 大道
那覇市安里381-1 TEL.098-885-0030

(訪問介護事業所)
那覇市字大道128 TEL.098-885-0033

大道中央病院
那覇市安里1-1-37 TEL.098-869-0005(代)
リハビリテーション部門 TEL.098-869-0050

メディカルプラザ大道中央
那覇市字大道123 TEL.098-886-0007(代)

一般内科部門 TEL.098-886-0115
循環器部門 TEL.098-886-5141
糖尿病部門 TEL.098-886-0115
人工透析部門 TEL.098-886-5151
検診部門 TEL.098-886-5678

介護老人保健施設 やすらぎの里
那覇市安里3-1-57 TEL.098-869-0030

グループホーム たかまーみの家
那覇市字大道94-3 TEL.098-887-0081

小規模多機能型ホーム 大道
那覇市字大道94-3 TEL.098-885-0018

グループホーム 大道が丘
那覇市字大道94-3 TEL.098-885-0036

小規模多機能型ホーム 三原
那覇市三原2-8-10 TEL.098-840-0027

訪問看護ステーション 陽心会
那覇市安里64-9-1F TEL.098-860-1270

那覇市地域包括支援センター 若狭
那覇市若狭2-1-10 TEL.098-863-1165